

玉川学園 21.5 世紀探究型学習「学びの技」研究発表会

生涯にわたって学ぶことが求められている現代、自ら学ぶためのスキルは、ますます必須のものとなることでしょう。中学3年生を対象に、そのスキルを効率よく習得するための探究学習「学びの技」を始めて4年目になります。ポスターセッション発表の指導や論文指導において各生徒の興味・関心に基づく研究テーマ決定をどのように導くか、様々なメディアからの情報収集と取舍選択、マインドマップや探究マップなどのツールを使用してどのように構成を考えさせ、論文を書き上げる指導を行ったのか、そのノウハウを公開いたします。

この授業では、従来の学校図書館機能を拡張したMMRC(マルチメディアリソースセンター)との連携も鍵となっています。また、IB(国際バカロレア)のディプロマプログラム(高2~3)のTOK(Theory of Knowledge)との関係も大切にしてきました。また、試行錯誤を続けている途中ではありますが、これまでの経過報告をいたしますので、ご意見やご指導をいただけましたら幸いです。

[キーワード]

探究型の学習、言語技術教育、言語活動の充実、TOK(IB)、SSH、教科横断型、論文指導、図書館を学びの場とした教育、論理的思考、総合的な学習の時間、一貫教育、自学自律

※この学習は本校SSH(スーパーサイエンスハイスクール)の研究課題の一つとして設定しております。

協力：東京都高等学校情報教育研究会

◎日 時 2012年11月10日(土)

◎会 場 玉川学園高学年校舎(中学3年生、高等学校1年~3年)

◎参加費 1,000円 ※資料代として(当日受付時)

◎昼食希望 1,000円 ※各自ご持参していただいても構いません。

◎プログラム

10:15~10:45 受付

10:45~11:35 ポスターセッション公開(中学3年生全員)

11:25~11:55 MMRC ツアー(希望者/先着60名)

11:35~12:50 - 昼食休憩 -

13:00~13:05 開会(会場：中学年講堂)

13:00~13:35 「学びの技」の授業体験：登本洋子(情報科教諭) / 伊藤史織(MMRC 司書教諭)

13:35~14:05 「学びの技」の今日的意義：河西由美子(玉川大学通信教育部・教育学部准教授)

14:20~15:20 パネルディスカッション「学びの技」のこれから

コーディネータ：堀田龍也(玉川大学教職大学院教授)

パネリスト：河西由美子(玉川大学通信教育部・教育学部准教授)

渡瀬恵一(玉川学園K-12プロジェクト代表)

後藤芳文(玉川学園高学年国語科教諭)

カメダクインシー(玉川学園IBディプロマプログラムコーディネータ)

15:20~15:35 質疑応答

15:35~15:40 閉会



お申込み <http://www.tamagawa.jp/cgi-bin/event/page.cgi?no=617>

問合せ先 玉川学園 042-739-8533 (高等部事務室)